

リュウキュウツワブキ

じゅんげつめつ きく
準絶滅危惧

学名 Farfugium japonicum var. luchuense
 科名 キク
 別名
 区分 そうほんるい 草本類
 分布 あまみ おおしま おきなわほんとう いしがきじま
 奄美大島、沖縄本島、石垣島、
 いりおもてじま
 西表島



葉の形 おうぎがた 扇形
 葉の縁 きよし 鋸歯
 葉の先
 葉の種類 たんよう 単葉
 葉の付方
 葉の基部 くさび形、切形
 実の種類 そう果
 花・萼色 きいろ 黄色

普通ふつうのツワブキの変種へんしゆで、山地さんちの溪流けいりゆう沿いそに生え、
 高さたか 30-80 cmの多年生たねせいの草本そうほんです。葉は光沢こうたくがあり、
 葉の縁はは鋸歯ふち きよしが鋭くすど尖りとが、溪流けいりゆうに生える種しゆの基部きぶは
 くさび形がたで狭くせまく、溪流けいりゆう以外いがいでは基部きぶが切形せつけいで広くなっ
 ています。花は黄色はな きいろで林内りんないではよく目立めだちます。

説
明